

【日程変更】ミツバチが農作業の省力化に一役 とよたの梨 受粉作業始まる



豊田市南部の福受（ふくじゅ）地区で、梨の開花に合わせてミツバチによる梨の受粉作業が始まります。梨は異なった品種でないと受粉しない性質を持っているため、同地区で梨の栽培をするJAあいち豊田梨部会員はミツバチを使った受粉作業で、おいしい梨を栽培しています。

ミツバチは市内の養蜂家から借り受け、同地区の畑（面積：約7.5畝/梨の木の本数：約2,200本余り）の約8割程度をミツバチによって受粉させ、農家の作業量軽減に役立っています。福受地区ではミツバチを活用した受粉を40年以上前から続けています。受粉作業は花の状態を確認しながら10日～2週間ほど続けられます。

JAあいち豊田梨部会（部会長：梅村 和也）は、同市の猿投・福受地区の43戸の農家が、合わせて約27畝で梨を栽培しています。昨年の出荷量は405トで、今年は500トを目指しています。7月20日ごろから「愛甘水」「あけみず」の収穫が始まり、8月上旬の主力品種である「幸水」、11月のジャンボ梨「愛宕」まで8品種を「とよたの梨」として順次出荷する予定です。



△白い花が咲く梨園をミツバチが飛びかう風景が撮影できます

令和4年 JAあいち豊田梨部会 概況

栽培面積：26.8畝（猿投・福受地区）
栽培農家（部会員）：43戸
出荷量（令和3年選果場出荷量）：405ト

取 材 日

取材日時：4月11日（月）午前10時 ←12日から11日に変更
【雨天予備日 4月12日（火） 予定】

集合場所：福受梨組合集荷場（豊田市福受町中ノ切26番地）

※取材圃場は別の場所です。JA職員がご案内いたします。

※取材希望の方は、下記までご連絡をお願いします。担当者不在の場合も
ありますので、その際は広報課（0565）31-2361へご連絡ください。

お問い合わせ先：

JAあいち豊田 営農生活部 猿投営農センター 選果場 担当：岡本・中野

〒470-0373 豊田市四郷町森前187番地 電話（0565）46-2217

または、広報課 電話（0565）31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

